

《練習日程》

月 日	会 場	時 間	備考
6月	9日(土) 第46回 愛知県合唱祭  (詳細別途)		
	16日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00
	23日(土)	//	//
	30日(土)	//	//
7月	7日(土)	//	//
	14日(土)	//	//
	21日(土)	勤労青少年ホーム 軽音楽室	//
	28日(土)	旭丘公民館	//
8月	4日(土)	//	//
	18日(土)	//	//
	25日(土)	//	//

《ご報告》

◎役員会開催

5/19 新メンバーによる第1回役員会開催、各自の抱負・課題等を述べた後、下記の事項について話し合いました。

- ・ 愛知県合唱祭について…スケジュール・楽譜等について確認 → 詳細は下記および別紙出演者要項ご参照ください。
- ・ 旭混声の課題について…年間計画や第7回演奏会について話し合うも時間切れ、次回持ち越し

★広報係から

《広報誌 愛称募集》

長年の懸案であった(ホントか?)広報誌の愛称を募集します。

よりわかりやすく、より親しみやすい紙面作りを目差すうえにも愛称は欠かせません(?)。

皆さんのユニークかつ知的なアイデアをお待ちしております。

応募用紙を用意しますが、口頭でもメールでも電話でも受け付けます。恥ずかしがりやの方は匿名でも結構です。

ご協力よろしく願いいたします。

なお、応募多数と言う夢のような事態になった場合は、団員による多数決で決めたく思っています。

《「ひとこと集」ふたたび》

記念演奏会で好評だった(ホントか?2)「ひとこと集」。

団員それぞれの思いや意見をお互いが知ることは、「合唱」するのに役立つ部分も多いかと思っています。

そこで、もっと頻繁に発言する機会を持ってはどうかという意見が登場です。ちょっとした

機会（たとえば、合唱祭・公民館まつりなどなど）ごとにその演奏について、はたまた日ごろの練習について、あるいは最近のMYブームについてなど自由に発言できる場として「ひとこと集・日常編」の発行を計画しています。

試験的に今度の合唱祭のあと原稿を募集してみますので、言いたいことが山のようにある方はもちろん、山じゃなくてもひとこと言わせろという方々、ぜひ一筆お願いいたします。

専用用紙を用意しますが、口頭でもメールでも電話でも受け付けます。恥ずかしがりやの方は…やはり名前は必要でしょう。

ご協力よろしくお願いいたします。

第46回 愛知県合唱祭 2007年6月9日(土)

愛知県勤労会館

●当日スケジュール

16:40 役員集合（会場 ホワイエ）・打ち合わせ

16:50 団員集合（ " ）

当日の動きを確認、パンフレット等配布

※出演者証は事前に各パートマネージャーから配布します。

楽譜とともに絶対お忘れなく！！

17:15 クロージングコンサート練習（小ホール）

※出演者証と楽譜（「天使」「鳥が」「夜のうた」）を提示

練習後、着替え（場所は当日決定）

(18:00) Dグループ終了後、入れ替わりに指定の席へ

18:35 Eグループ演奏開始

※I Z Aの演奏終了後、「演奏前待機場所」へ移動

(19:25) 本番

※演奏終了後、「演奏後待機場所」へ移動

※東海メールクワイアの演奏終了後、指定の席へ移動

20:00 クロージングコンサート

※終了後、神谷先生からの講評をいただきます。

諸連絡

解散

●衣装

・男声：白ジャケット・白ワイシャツ・赤蝶ネクタイ・黒靴

・女声：白ブラウス・赤スカート・黒靴

※参加中は夕食をとる時間も場所也没有。入場前に別所で軽くすませしておくか、ガマンできる方は終了後にとるようにしてください。

※別紙出演者要項をしっかりと読んでおきましょう。

《おすすめ情報》

☆DOXY Live

H・I・T 矢口十詩子 (vin)

小林伊津子 (vla)

石川ひとみ (p)

2007.6.4 mon LiveTime 19:30~23:30

DOXY TEL052-242-1227

☆瀬戸市民オーケストラ 第20回記念定期演奏会

指揮 今村 能

演目 ショスタコーヴィッチ：交響曲第5番ニ短調作品47

グノー：歌劇「ファウスト」バレエ音楽

ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」

会場 瀬戸市文化センター 文化ホール

日時 2007.6.17 sun 14:00~開演

入場料 1000円（中学生以下無料）全席自由

お問い合わせ先 小林（0561）88-0475

☆グリーグ没後100年記念 JAPAN TOUR 2007

指揮 グレーテ・ペターシェン

ノルウェー・ソリスト合唱団

賛助出演：合唱団ノース・エコー（指揮：長谷順二）

エドヴァルト・グリーグ Edvard Grieg

●4つの詩篇 Fire salmer, Op.74

●わたしはとても悲しくなった Jeg lagde meg så sildig

●ロンダ ーネにて[ペターシェン編] Ved Rondane

●春[ベック編] Vårren

●『抒情小曲集』より[ペターシェン編] Fra "Lyriske stykker"

●2つの宗教的合唱曲 To religiøse kor

1.若き花嫁の棺の傍らで Blegnet, segnet!

2.めでたし海の星よ Ave maris stella

●マルグレーテの子守唄[クヴェルノ編] Margrethes vuggesang

ノルウェー民謡集より[ペターシェン編] Fra "Norske Folkesanger"

合唱団ノース・エコー

エドヴァルト・グリーグ

われらに平和を与えたまえ Dona nobis pacem

クヌート・ニーステッド：恐れることなかれ Be not afraid

他

2007/09/09（日）16:00~開演

しらかわホール S席¥4000 Sペア席¥7500 A席¥2500

しらかわホールチケットセンター tel:052-222-7117

☆HPよりお知らせ☆

・New フォトのページにコメントを寄せられるようになりました。やり方は PHOTO のページ内にて。みんなで書き込み！

・団員専用HP ID asahimix パスワード ohana(お花)

HPの練習日誌を載せました。4、5月担当はソプラノパートリーダーのchikaさんでした。お疲れ様です。

■-5月26日*****

「南海譜」

内容は暗いが、陽性で歌いましょう。

A'の前のrit.からa tempoになるところは指揮をよく見て。最後のハミングは先生の指示をよく見る。

「旅のかなたに」

楽譜が間に合いました。

次回までに今までの書き込みを移しておくといいいと思います。

>ソプラノ

特に音域が低い箇所は子音がはっきりしない。

aの響きが時々狭くなる。

>アルト

母音で歌う箇所の音程をもう一度チェックしましょう。

>男声

ソロの箇所はせっかく気持ちよく歌えるんだから楽譜から目を離してください。

指揮を見てない人が女声からよくわかります。

(笑)

<全パート>

音は取れているから、あとは神谷先生が照れるくらい見つめて歌いましょう！

思い通りに私たちが歌えると、先生って鼻がぴくっと動いてうれしそうです。(笑)

神谷先生が添乗員、ひとみ先生のピアノがバスガイド。一緒に旅ができる喜びを感じて歌えるといいな。

(ちなみに私はこの曲を歌うたびに万里の長城のような広大な風景をイメージしてます。)

■-5月19日*****

「旅のかなたに」

谷先生がいらっしゃらなかったのも、ひとみ先生が男声、不肖わたくしが女声のP練を担当させていただきました。

女声は徹底的に母音、ソプラノの二拍三連(アルトの皆様お付き合いくださってありがとうございます！)

たった1度の練習で完璧には行きませんが、少しはためになっていればいいな~と思っています。

後半の全体合わせは少人数に分けて聴きあう練習。これいいですね♪

自信がついてきた男声に「調子に乗るな~」なんて辛口コメント失礼しました。

けれど、今後の私たちの課題の一つは「聴くこと」だと思うのです。だから愛を込めて思わず出ってしまった言葉です(笑)ごめんなさい！

今は自分のパートで精一杯。

バランス、今歌っているところで他のパートはどんな旋律で動いているんだろう...という余裕が出てこなくては、アンサンブルの意味がない。本番まであと2回、この練習の成果が出るといいですね。

■-5月12日*****

「鳥が」

一通り歌いました。

「旅のかなたに」

<1~4小節目>

アルト音程△

3小節目のアクセントのあと、響きを飲み込まない。

<23小節目~>

ソプラノ二拍三連できないのは、指揮を見ていないのも一因と思う。あとはNの響きが怖いからすぐ次の音符に移動し、結局シンコペーションになってしまう。

ココの部分はまず暗譜しましょう！次回のP練でがんばって直せたらいいですね♪

テノールはUの発音がまずい。基本(母音の練習)は女声に限らず、全パートにいえることかもしれません。

ローザンヌ声楽アンサンブルの演奏が理想との話。どんな演奏か、まず聴きましょう。

■-4月28日*****

「旅のかなたに」

<23小節目から>

下3パート音程危ない。

テナーはここに限らず、フラットがかかる音程が気になる。(特に41小節目からの男声部分で目立つ)

アルトは半音階などもう一度P練でおさらいしておいた方がいいかもしれません。

同じようにP練しなくちゃいけないのは終始言われていたソプラノの二拍三連のリズム。

何かいい方法がないか連休中の私への宿題です。

楽しく身につく方法を(笑)

<41小節目>

ベース惚れ直しました。(女声代表して声を大にし叫ぼう！)

<50小節目から>

テンポゆっくりになることを忘れがち
先生の指揮を見ましょう！

<66小節目から>

伴奏のコード進行の広がりを感じて歌うこと。

sffpの部分も、ベース褒められました！

ただし、音とりの危ない箇所あるんだから調子に乗らんこと。(笑)

「鳥が」私はお初でした。

でも過去に歌ったことがあるそうで...